

# 基盤整備 委員会

## 重点調査項目

橋りょう及び水道の耐震化について  
環境行政におけるごみ処理計画について  
都市基本計画とまちづくりについて

## 行政視察先

埼玉県川越市・埼玉県さいたま市  
品川清掃工場（東京都品川区）

### 川越市のまちづくり

#### 【目的】

歴史的風致維持向上計画が認定された川越市のまちづくりについて視察しました。

#### 【特徴】

川越祭りや物資の集散、寺社門前の賑わいなど、**独特の風情を醸し出した**まちですが、計画が認定されたばかりで今後の取り組みにおける課題は少なくないようです。

#### 【反映】

地域特性はあるものはあるもの、改めて高山市の取り組みの先進性を確認する視察となりました。



川越市のまちなみ

### 最新のごみ処理施設

#### 【目的】

東京都品川清掃工場で最新のごみ処理施設を視察しました。

#### 【特徴】

最新設備による大気汚染物質の除去はもちろん、焼却熱によ

### 水道の耐震化

#### 【目的】

水道管路の耐震化について、先進的に取り組んでいるさいたま市水道局を視察しました。

#### 【特徴】

さいたま市は、マッピングシステムを駆使して配水管網を解析し、老朽度や重要度などの機能評価を行って、更新の優先順位を中期経営計画に盛り込んだ事業展開をしています。

#### 【反映】

全国的に水道施設や管路の耐震化の遅れが指摘され、高山市も例外ではありません。高山市にある断水時の影響範囲の特定や、地形・土質データによる危険度解析など、シミュレーションが図上表示できるシステムの採用と、全体像を把握した上での更新計画策定が必要と考えます。

る発電や地域への熱供給、溶融スラッグの有効利用など**循環型社会**づくりにも対応しています。

#### 【反映】

高山市は、現施設を延命し新施設の稼働を平成31年度以降としており、今後も委員会調査を進めていきます。

## 分野別市民意見交換会から

### 公共工事における現状と課題

#### 【目的】

高山市の建設業を取り巻く**状況や諸課題**についてご意見やご要望をお聞きするため、建設業連絡協議会の役員の方々と意見交換の場を設けていただきました。

#### 【経過】

大震災の影響による景況悪化、企業を取り巻く経営環境の厳しさなど現状説明を受けた後、懇談に移り、活発に意見を交わすことができました。

**地域の基幹産業**でもある建設業が、景気のあおりを受け雇用も含めて厳しい状況に置かれていますが、除雪や災害への対応など、建設業界は市民生活に密着した業界でもあります。

#### 【意見交換から】

景況悪化の中での社員・技術者の確保や技術の継承、建設機械の維持管理など課題は山積しており、今後も連携を図りながら意見を伺っていききたいと考えています。

### 水道設備関係における現状と課題

#### 【目的】

高山管設備工業協同組合は、指定管理者として市の水道施設の維持管理業務を請け負っています。

一番、**現状を把握**されている立場から、水道施設の耐震化や技術者の養成、行政との連携などについて意見を伺いました。

#### 【経過】

特筆したいのは、組合のワーキンググループで「震災シミュレーション」を**独自に策定**されていることです。災害時に市と連携して、組合がどう行動するか、初動体制から他市からの応援が入った際の核となるリーダーの養成まで詳細に検討されています。

#### 【意見交換から】

市民の大切なライフラインである**水道を守る**という観点から、前向きな意見交換ができたことに感謝しています。